

【 家庭教育支援チーム 】

チーム名 (呼称)	蓮田市家庭教育支援チーム (呼称:蓮田家庭教育支援チーム)
活動開始年度	平成 20 年度
活動拠点	なし
活動範囲	蓮田市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施
組織体制	7 人 埼玉県家庭教育アドバイザー4人(うち主任児童委員1人・家庭児童相談員1人・子育てひろば育児相談員1人)・子育て支援センター育児相談員(元保育園園長)1人・蓮田市教育相談員(元小学校校長)1人・NPO 理事長1人
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() ・小学校就学時検診における子育て講座(親の学習) ・中学校説明会における子育て講座(親の学習) ・家庭教育学級(乳幼児対象・小学生保護者対象)講師 ・愛育会測定会における育児相談 ・親子ふれあい村 ・元気になれる子育て講座 ・おもちゃ図書館(月1回)
活動の成果	・親同士のつながりを求めているが、うまくつれない親も多く、親の学習や家庭教育学級などの場を使って、コミュニケーションのきっかけづくりができています。 ・親の学習では、自分と同じ考えを聞くことで、自信を持って子育てすることができ、自分とは違う考えややり方に触れることで、自分の子育てを見直す機会となっている。 ・話すことは自分の考えをまとめることにもなり、ストレス解消にもなっているようだ。
活動において苦労した点や課題	講座に申し込むことを躊躇してしまう人に一歩踏み出してもらうことが課題である。
今後の活動目標	学習アドバイザーが活動できる機会(講座)をつくること。
問合せ先 【公表可能な連絡先】	(部署・氏名等) 蓮田市教育委員会子ども支援課 志村美奈・中島文子 (TEL) 048-765-1715 (E-mail) kodomo@city.hasuda.saitama.jp